



キプロス共和国 (Republic of Cyprus)



- キプロスへの援助総額は1998年までに累計9,300万円。
- 日本は1960年8月のキプロス独立と同時に同国を承認。1962年に外交関係を開設。2010年には国交樹立50周年を記念してニコシアにおける日本週間を実施。
- 2011年の東日本大震災を受けて、被災児童25名がキプロスへ招待。

国概要

(基礎データ)

- ・ 面積: 9,251平方キロメートル(四国の約半分)
- ・ 人口: 84万人(2014年末, キプロス共和国統計局)
- ・ 首都: ニコシア
- ・ 民族: ギリシャ系(北部はトルコ系)
- ・ 言語: ギリシャ語, トルコ語
- ・ 宗教: ギリシャ正教(北部はイスラム教)
- ・ 政体: 共和制
- ・ 議会: 一院制(80議席(ただしギリシャ系56議席のみで構成, 任期5年))
- ・ GDP: 230.76億ドル(2014年, 国連統計部サイト)
- ・ 一人あたりGDP: 26,147ドル(2014年, 国連統計部サイト)
- ・ 経済成長率: 1.6%(2015年, IMF)
- ・ 失業率: 15.31%(2015年, IMF)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1571-1878年	オスマン帝国支配
1878-1959年	大英帝国支配
1960年	キプロス独立
1963年	両系(ギリシャ系・トルコ系)の戦闘行為激化
1964年	国連キプロス平和維持隊(UNFICYP)派遣
1974年	トルコ軍キプロス侵攻、島の北部を占領
1983年	トルコ占領地域、一方的に「北キプロス・トルコ共和国」独立を宣言
2004年	EU加盟
2008年	ユーロ導入
2015年5月	アナスタシアディス・キプロス共和国大統領とアクンジュ北側代表が直接交渉再開

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
技術協力	9,300万円 (1982-98年の累計実績)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からキプロスへの輸出	323億円 (2015年度, 財務省)
キプロスから日本への輸出	125億円 (2015年度, 財務省)
日本からキプロスへの直接投資(フロー)	8.4億ドル (2014年, OECD)

人的つながり

項目	人数(直近年)
キプロスにおける在留邦人数	45人(2015年, 外務省)
在日キプロス人数	35人(2015年, 法務省)
日本からキプロスへの留学生数	1名以上(2015年, 外務省)
キプロスから日本への留学生数	9名以上(2015年, JASSO)
日本からキプロスへの観光客数	613人(2015年, キプロス統計局)
キプロスから日本への観光客数	568人(2014年, JNTO)

日本とキプロス共和国との協力年表

年代	案件
1960年8月	キプロス独立, 日本はキプロスを承認
1962年	外交関係樹立
1970年	マカリオス大統領訪日
1972年	査証及び査証料免除取極締結
1984年	キプリアヌ大統領, ヤコヴ外相訪日
1989年	ヴァシリウ大統領, ネミツス商工相訪日
1990年	ヴァシリウ大統領訪日
1991年	連合参議院PKO視察議員団のキプロス訪問
1997年	カスリーディス外相訪日
2002年	瓦日・キプロス友好議員連盟会長のキプロス訪問
2005年5月	ヤコヴ外相訪日
2007年10月	ネオフィートウ・キプロス日本友好議員連盟会長訪日
2015年7月	カスリーディス外相訪日

外務省賓客としてイオアニス・カスリーディス・キプロス外務大臣が訪日。



岸田文雄外務大臣は、イオアニス・カスリーディス・キプロス外務大臣と外相会談を実施。



2010年、「キプロスにおける日本週間」の一環として、ニコシア大学ユネスコ・ホールにて、日本留学及び日本政府奨学金に関するガイダンスを実施。ガイダンス終了後の懇談の場では、奨学金に関心のある学生が質問をする姿もみられた。



2014年にニコシアにて天皇陛下の81歳を祝う天皇誕生日祝賀レセプションを開催。レセプション会場では寿司や日本酒がふるまわれ、盛況だった。



2008年、ニコシア市にて漫画・生け花実演&折り紙ワークショップを開催。日本紹介DVDの上映をはじめ、漫画制作の実演、生け花実演及び折り紙ワークショップを実施。伝統文化とポップカルチャーの両方を盛り込んだ、キプロスでは初の多彩な日本行事となった。写真は折り紙と生け花の実演。



2011年12月24日～2012年1月7日、キプロス外務省の招待を受けて、被災児童計25名(福島、宮城の児童が中心)がキプロスを訪問し、プリストフィアス大統領(当時)と面会。



2010年は日本がキプロスを国家承認してから50周年であり、「キプロスにおける日本週間」を実施。